

# 社会福祉法人 虹の会 上の原保育園 平成 30 年度 事業報告

1、名称 上の原保育園

2、所在地 神奈川県横浜市旭区小高町 104 番 5

3、保育方針 ◎子どもの人権・主体性を尊重します。◎子どもの最善の幸福をめざします。

保護者や地域社会と力を合わせ、子どもの福祉を積極的に増進し、地域社会の家庭援助を行う。

4、保育目標 元気な子ども／仲の良い子ども／考える子ども／自分のことが自分でできる子ども

5、定員・在籍数 定員 60 名 平成 30 年 4 月 1 日現在、在籍 70 名

6、開所時間 平日 7:00~20:00 土曜日 7:30~18:30

7、職員構成

常勤保育士		非常勤保育士		委託	
園長	1 名	保育士	8 名	栄養士	1 名
主任	1 名	保育補助	2 名	調理師	3 名
保育士	15 名	用務	2 名		
事務員	1 名				

8、保育内容

- ・環境を活かし自然に親しむと共に、その恵みを食育につなげる工夫をした。
- ・リズム遊び・体操教室・広場の充実を通して、身体作りを積極的に行った。
- ・自主性を重んじ、子どもの中から生まれる様々な活動能力や考えを支える役目を担うよう努めた。
- ・興味関心のある事を利用し、集中力を養うよう努めた。
- ・年長組のお泊り保育を行い、自立心や仲間との連携の大切さなどを培うよう努めた。
- ・関連施設である上の原幼稚園との交流を持ち、多くの仲間と過ごす経験を積むよう工夫をした。
- ・地域の人々・お年寄り世代間との交流を計る中で、生活の知恵を教わった。
- ・毎月のグループホーム訪問、行事時の施設訪問も併せ、お年寄りへの理解と交流を持った。
- ・地域の小学校・幼稚園・保育園と積極的に交流を持ち、豊かな活動を体験した。
- ・地域の方の協力を仰ぎ、日本の伝統行事や楽器等を子どもたちに分かりやすく伝えた。

9、年間行事

4 月	入園・進級を祝う会、懇談会	10 月	運動会、収穫祭、サンマを焼く会
5 月	育児講座、歯科健診、幼児遠足、個人面談	11 月	遠足、勤労感謝の集い、内科健診、参観
6 月	乳児遠足、参観、内科健診、プール開き、 子どものアトリエ（4・5 歳児）	12 月	お餅つき、クリスマス老人施設訪問、 クリスマス会
7 月	七夕、七夕老人施設訪問、育児講座、お泊り保育	1 月	獅子舞鑑賞、生活発表会
8 月	そうめん流し、すいか割り、夕涼み会	2 月	豆まき、育児講座
9 月	プール納め、おまつりごっこ おじいちゃんおばあちゃんと遊ぶ会	3 月	ひな祭り音楽鑑賞会、入所説明会、 卒園遠足、お別れ会、卒園を祝う会

## 10、施設の運営

- ・職員会議：毎月 1 回以上、全常勤職員と非常勤職員の代表が参加し、各クラスの様子・保育内容の確認・行事打ち合わせ・外部研修参加職員による報告・各担当プロジェクトからの報告を行った。  
栄養士との給食会議も行った。
- ・防災関係：消防計画（防火管理者を中心とした自衛消防組織図の見直し・全職員の役割分担確認）  
消防設備点検（外部専門業者に委託し年 2 回点検をした）  
避難及び消火訓練（月 1 回以上、火災地震を想定し避難・消火・通報訓練を実施、広域避難も実施）
- ・不審者対応訓練：年 2 回／AED使用訓練
- ・安全管理・衛生管理：各マニュアルを見直し最新のものを作成、職員に周知した。  
水道・井戸共に水質検査を行った。
- ・財務状況：別紙 30 年度資金収支計算書等の通り

## 11、職員の状況

- ・健康管理：全職員健康診断を実施・毎月検便を行った
- ・職員研修：キャリアアップ研修の受講を優先的に実施した

## 12、施設の維持管理

園庭に太陽光発電・風力発電の街灯を設置した。

上の原牧場の設備整備を進め、ポニーを飼育し始めた。（3 月 8 日～）

乳児クラス側の園庭に外シャワーと門を、側の園庭の砂場にパーゴラや棚を設置した。

屋内外施設設備を定期的に点検し、不具合を見つけたら早急に対応を行い、保育に支障が出ないようにした。

パーゴラや日よけタープを張るための柱を設置した。（固定遊具の一部になるもの）

## 13、地域連携

- ・地域の保育園との年齢別交流等、保育士の研修も兼ねて交流を持つ。
- ・地域活動支援として、旭区の公私立保育園で行う「保育園ひろば」や近隣保育園と連携して開催するイベント「親子で遊ぼう」を継続して行う。
- ・一時保育や育児講座、園庭開放、交流保育などを継続して行う。
- ・町内会の行事に参加したり、地域に保育資源を提供したりする。

## 14、その他

- ・社会福祉充実計画に基づき、保育環境の改善や職員の資質向上に努めた。
- ・横浜市保育士宿舎借上支援事業制度を活用し、保育士の生活の充実を図った。
- ・温暖化・異常気象に対応し、子どもたちが安全で健康に生活できる環境を整えるよう努めた。